中国知的財産権

ニュースレター

中国国際貿易促進委員会特許商標事務所

2021年第10号（全80号）

2021年10月28日



〒100031　中国
北京市西城区復興門内大街158号
遠洋大厦10階
TEL：+86-10-66412345
FAX：+86-10-66415678/10-66413211
E-MAIL:mail@ccpit-patent.com.cn

〒107-0052　日本
東京都港区赤坂1-9-13
三会堂ビルディング3階
TEL: +81-3-5572-6686
FAX: +81-3-5572-6687
E-MAIL: Tokyo@ccpit-patent.com.cn

www.ccpit-patent.com.cn

目次

北京　地理的表示の司法保護を強化..... 2
中国　ビッグデータ、人工知能、遺伝子技術などの知的財産権法整備を加速..... 3
中国国家知識産権局が商標登録証の発行方法を調整..... 4
中国最高裁判所　知的財産権一審案件の受理数がこの８年で平均24.5%の伸び 5
AI・IoT・ビジネスモデルの関連情報..... 6

北京　地理的表示の司法保護を強化

北京知的財産権裁判所の情報によると、2014年11月の設立から今年8月末までに、同裁判所は地理的表示にかかわる権利付与行政案件53件、地理的表示にかかわる権利確認行政案件78件、地理的表示にかかわる権利侵害の民事案件43件を審理した。

北京知的財産権裁判所が審理した地理的表示にかかわる案件は、数は少ないが、全てのタイプが揃っており、渉外案件が多く、専門性が高く、影響が広範囲にわたるという特徴を備えている。また、地理的表示のレイアウトにかかわる権利付与・確認行政案件が比較的多く、地域産業のブランドの展開と個人消費にかかわる案件が比較的多く、地理的表示製品の国際貿易と競争にかかわる渉外案件が比較的多いという特徴を呈している。

北京知的財産権裁判所の関係責任者は、同裁判所は今後司法のサービス・保障レベルを更に向上させ、法により司法保護を強化し、国内外の市場主体の合法的権益を平等に保護し、地理的表示行政管理機関や農産物の地理的表示管理機関、地方政府、産業団体、関係企業と共同で、法知識の普及活動と訴えの発生源の管理を進め、地理的表示の全般的保護に積極的に協力すると述べている。
http://www.iprchn.com/cipnews/news_content.aspx?newsId=131092

中国　ビッグデータ、人工知能、遺伝子技術などの知的財産権法整備を加速

中国中央政府が先頃発表した『知的財産権強国建設綱要（2021－2035年）』によると、中国はビッグデータ、人工知能、遺伝子技術などの新分野、新業態の知的財産権法整備を加速し、新技術、新産業、新業態、新モデルの知的財産権保護規則を確立し、完備化することが明らかになった。

最新の同綱要は、中国の知的財産権強国戦略は社会主義近代化に向けた知的財産権制度を構築する必要があり、カテゴリーが整い、構造が厳密で、内外の調和を備えた法体系の構築には、ビッグデータ、人工知能、遺伝子技術などの新分野、新業態の知的財産権法の整備が包まれると指摘している。

法体系の構築は以下の内容も含む。実情に応じた専利法、商標法、著作権法及び植物新品種保護条例の適時改正、地理的表示や意匠などの特別法・規則の制定の模索、特別な保護と商標保護が調整された統一的な地理的表示保護制度の完備化、集積回路レイアウトの法規の完備化、商業秘密保護の強化に関する法律、法規の制定、改正、知的財産権濫用を規制する法律制度及び知的財産権関連の独占禁止、不正競争防止などの分野の立法の完備化、科学技術進歩法の改正、知的財産権裁判の法則に符合する特別手続の法律制度の制定、完備化についての検討、権利侵害の懲罰的賠償制度の全面的な確立と適用、損害賠償制度の強化などである。

迅速な対応、合理的保護が実現できる新興分野と特定分野の知的財産権規則体系を構築するには、新技術、新産業、新業態、新モデルの知的財産権保護規則を確立し、完備化するとともに、インターネット分野の知的財産権保護制度の改善を模索し、データの知的財産権保護規則の制定を検討し、知的財産の開発と法体系を整え、アルゴリズム、ビジネス方法、人工知能による創作物の知的財産権保護規則を研究し、改善する。

また、遺伝資源、伝統的知識、民間文芸などの獲得と利益配分制度の構築を強化し、無形文化遺産の収集、整理と転用を強化する。漢方の伝統的知識の保護と現代の知的財産権制度との効果的な連携を推進し、漢方の知的財産権の総合保護システムを更に完備化し、漢方の特別審査と保護メカニズムを構築し、漢方の伝承とイノベーションの発展を促進する。

http://www.nipso.cn/onews.asp?id=52939

中国国家知識産権局が商標登録証の発行方法を調整

商標登録改革の推進、経営環境の最適化、公共サービスレベルの向上のために、中国国家知識産権局は商標登録証の発行方法を以下のように調整した。

一、2022 年 1 月 1 日より、公告登録又はその他の商標出願に基づいて発行された商標登録証について、商標登録が書面出願の場合、『商標登録証発行の通知書』を発送する。登録人は通知書に記載されたパスワードで中国商標ウェブサイトにログインして電子商標登録証を取得することができる。商標登録が電子出願の場合、商標オンラインサービスシステムにログインして電子商標登録証を取得することができる。電子商標登録証は閲覧、ダウンロード、プリントアウトができる。国家知識産権局は紙の商標登録証を発行しない。

二、2021 年 10 月 15 日から 12 月 31 日までを過渡期とし、公告登録又はその他の商標出願に基づいて発行された商標登録証について、商標登録が書面出願の場合、『商標登録証発行の通知書』を発送する。登録人は通知書に記載されたパスワードで中国商標ウェブサイトにログインして電子商標登録証を取得することができる。紙の商標登録証も合わせて発送する。商標登録が電子出願の場合、発行方法は当面従来どおりとなる。

https://www.cnipa.gov.cn/art/2021/10/12/art_74_170694.html

中国最高裁判所　知的財産権一審案件の受理数がこの８年で平均24.5%の伸び

中国の裁判所が受理した各種の知的財産権一審案件は 2013 年の 10 万 1000 件から 2020 年の 46 万 7000 件に増え、年平均増加率は 24.5%であった。

『最高裁判所の裁判所知的財産権裁判作業状況についての報告書』（以下、報告書という。）が 10 月 21 日に第 13 期全人代常務委員会第 31 回会議の審議に提出された。中国最高裁判所の周強長官は全人代常務委員会への報告にあたって、知的財産権案数の急激な増加は、経済社会の高品質の発展による知的財産権保護の需要の明らかな高まりを反映していると述べた。

知的財産権案件は、新しいタイプの紛争の大量出現、ネットワークにかかわる権利侵害の頻発という特徴を見せている。報告書によると、インターネットのコア技術、遺伝子技術、情報通信、集積回路、人工知能及びプラットフォーム経済などにかかわる新しいタイプの案件が日に日に増加し、複雑な技術の事実認定と法律適用の難度が高まった。オフラインでの権利侵害と比べ、オンラインでの権利侵害行為は実行しやすく、より隠微され、より複雑であるため、権利者にとって権利保護がさらに難しくなっている。

報告書によると、2013 年 1 月から 2021 年 6 月までに、全国の裁判所で各種の知的財産権一審案件 218 万 1000 件を受理し、206 万件の裁判を終了した。裁判終了案件の内訳は、専利案件が 14 万 3000 件、著作権案件が 131 万 6000 件、商標案件が 43 万 7000 件、技術契約案件が 1 万 8000 件である。

報告は、裁判所はイノベーションの保護を強化し、イノベーション駆動型発展を貢献し、法により技術革新成果に基づく専利を保護し、5G 通信技術、バイオ医薬品、ハイエンド機器の製造、新素材・新エネルギーなどの高度な新技術にかかわる案件を適切に審理したほか、法により科学技術イノベーションの主体の合法的権益を保護し、農業の科学技術成果の保護も強化したと指摘している。

公平な競争秩序の保護の強化、市場の法的環境の保護の面で、裁判所は不正競争行為を制止した。電子商取引プラットフォームの「二者択一」、「ネットショップのサクラレビュー」、ブラウザ公告の不正ブロックなどインターネットにかかわる不正競争案件を審理した。そのほか、商標の登録・使用行為を規範化し、2020 年は商標権利付与・確認一審行政案件 1 万 6000 件の裁判を行った。

周強長官は、今後は知的財産権裁判の司法改革の深化に力を入れ、知的財産権裁判能力を向上させ、全面的な知的財産権保護体制の整備を推進し、知的財産権に関する国際的な司法交流と連携を強化し、新時代の要求に適応する知的財産権裁判チームを構築すると紹介した。

http://ipr.mofcom.gov.cn/article/gnxw/sfjg/rmfy/zgrmfy/202110/1965694.html

AI・IoT・ビジネスモデルの関連情報

世界インターネット大会・烏鎮サミットが開催
14の先端技術成果が発表

2021年世界インターネット大会・烏鎮サミット（World Internet Conference Wuzhen Summit）が9月26日に開幕した。今年のテーマは「デジタル文明の新時代に向かって―手を携えてサイバー空間の運命共同体を構築する」である。「中国インターネット発展報告（2021）」、「世界インターネット発展報告（2021）」青書及び14の「世界インターネット先端技術成果」が大会で発表された。

展示会場：「インターネットの光」博覧会に注目

9月25日に開催された2021年世界インターネット大会の「インターネットの光」博覧会には、24の国・地域から343の企業・機構が参加した。

ANTCHAIN チームが開発した「MORSE プライバシー保護コンピューティング）All-In-One マシン」が展示された。ブラックボックスのような外観で、200件以上のソフトウェア・ハードウェアの特許を搭載しているという。紹介によると、ANTCHAIN の「MORSE プライバシー保護コンピューティング）All-In-One マシン」は、ANT MORSE マルチパーティ・セキュア・コンピューティング・プラットフォームをベースにしており、プライバシー保護コンピューティング、トラステッド・ハードウェア、ブロックチェーンなど、自主開発した様々な技術が統合されている。

Tencent（騰訊）の展示ブースでは、その場で写真を撮るだけで、まるで数千年前にタイムスリップして、杭州の伝説的人物のような鮮やかな画像を手に入れることができる。この AI 写真館は、Tencent YouTu（騰訊優図）の汎娯楽（Pan-Entertainment）技術を応用し、ユーザの写真と特定キャラクターを顔レベルで融合させ、ユーザのイメージと特定キャラクターの外見的特徴を併せ持った写真を生成する。

発表：先端技術成果がハイエンドチップなどの分野をカバー

9月26日、2021年「世界インターネット先端技術成果の発表会」が烏鎮インターネット国際会展センターで開催された。Harmony OS（鴻蒙 OS）、阿里雲盤古（クラウドコンピューティング向けの大規模分布型保存システム）、スタンドアローン（SA）方式の5G ネットワークエンド・ツー・エンドシステムソリューション、世界初のオープンソース NPU 命令セットアーキテクチャ、北斗グローバル衛星測位システムの構築・応用など14項目が技術成果に選ばれた。

今回の発表会は、2021年世界インターネット会議のテーマ「デジタル文明の新時代に向かって―手を携えてサイバー空間の運命共同体を構築する」に沿って、世界のインターネット分野における最先端の技術成果を紹介し、全面的なイノベーション交流のプラットフォームを構築することを目的とした。5月初めに募集を発表して以来、世界中のインターネット業界から注目を集め、中国、アメリカ、ロシア、イギリス、イタリア、スウェーデン、ニュージーランドなどの国や地域から300以上の成果がエントリーされた。

ビデオ演説：テスラがすでに中国にデータセンターを設立

従来の特色を踏襲し、今回も「企業家サミット」と「インターネット国際ハイエンドシンクタンクフォーラム」などが開催された。最先端技術の動向としては、5G、AI、オープンソースエコロジー、データとアルゴリズムなどがフォーラムのトピックとして取り上げられた。サイバー空間ガバナンスの面では、ネットワークデータのガバナンスやネットワーク上の噂の共同管理などがテーマとなった。

テスラ社のイーロン・マスクCEOは9月26日、ビデオ演説で、テラスがすでに中国にデータセンターを設立したと述べた。また、「データセキュリティはインテリジェント・コネクテッド・ビークル（ICV）が成功するカギであり、個人の利益と密接に関わるだけではなく、社会全体の利益とも深く関わっている。テスラは関連法律・法規が整備され、データ管理が強化されることを歓迎する」と述べた。テスラは、すでに中国にデータセンターを設立し、生産データ、販売データ、サービスデータ、充電データなど、中国事業で発生する全データを中国国内で保存する。同時に、保存されたデータの安全は、暗号化、認証、アクセスコントロールなどの技術手段によって確保される。マスクCEOはまた、「テスラ自動車の持ち主の個人情報はすべて中国国内で安全に保存され、国外に転送されない。国外に部品を発注するなどごくまれな場合にのみ、一部のデータが承認を得て国外へ伝送される」と強調した。

http://www.chinanews.com/it/2021/09-27/9574639.shtml

「生まれて」すぐに稼動、
触覚を持つ4Dプリントソフトロボットが登場

先頃、天津大学材料学院の封偉教授が、自律動作能力と触覚ひずみゲージを備えた4Dプリントソフトロボットを開発した。研究成果は、トップ・ジャーナル『Matter』に掲載された。

伝統的な製造方法はソフトロボットの「スマート化」を制限

ソフトロボットは、新しいタイプの柔軟性のあるロボットで、非構造化のさまざまなシーンに適応でき、人とよりよく、より安全にインタラクトすることができる。従来のロボットに比べ、柔軟性と適応性があり、危険性も低い。しかし、現在、ソフトロボットは、主に手作業による組み立てで製造されている。製造方法の制限により、生産が困難になり、材料の選択範囲も制限され、複雑な駆動性能、特に制限のない自律動作や知覚能力を得ることが難しい。

一方、3Dプリントは、デジタルモデルをもとに、デザインのアイデアを自動的かつ正確に複雑な部品に変換することができ、生産効率や製造の柔軟性がを大幅に向上することができる。

「私たちは、3Dプリントをベースに、ソフトロボット製造に『時間』軸を加え、つまり、4Dプリントで、スマートマテリアルを熱刺激に反応する動的構造のマテリアルに加工する」と封偉教授は述べ、「4Dプリントによって、単に変形できるアクチュエータではなく、知覚機能や適応性を備えたスマートソフトロボットを作り上げたい。ソフトロボットがより豊かな作動現象を備えることができれば、更に多くの動物や人の行動を模倣することができ、スマート化が実現できる。現在の研究のほとんどは、曲げたり変形したりするアクチュエータに基づくものであり、初歩的な刺激応答機能にすぎない」と続けた。

4Dプリントでスマートソフトロボットを直接作り上げる

封偉教授のチームは、液晶エラストマー（LCE）のスマートマテリアルを4Dプリント技術で精密加工し、知覚能力と適応性を備えたスマートソフトロボットを直接作り上げた。「LCEは異方性の剛直な液晶分子を結合できる架橋ポリマーネットワークである。その特殊な構造は、ゴムの弾性と液晶の異方性を有機的に結合させ、特殊な光学的・物理的特性を生み出す。」封偉教授によると、結晶内部の原子の配列により、液晶の各方向に生じる異なる性質を「異方性」という。

研究チームは、熱溶解積層法（FDM）をベースにした3Dプリンタを改造し、液晶エラストマーの精密なインク直接印刷技術を実現した。このプロセスでは、剛直な液晶分子が、制御可能の分子配列を有する3D構造に直接書き込まれる。

液晶分子の配列順序はプリンタによって設定されるため、異なる配列順序は異なる刺激応答能力が実現できる。

封偉教授は、新しい液晶エラストマーの熱駆動現象により、自律動作能力と触覚ひずみゲージを備えた4Dプリントソフトロボットを作り上げた。このロボットは、一度のプリントで成形された後に熱による無制約の回転能力を備えており、後続の処理手順を必要とせず、簡単で速く製造でき、しかも複製が容易である。

「私たちが最も驚いたのは、このロボットの自律性と障害物に遭遇した時のインテリジェントで生体工学的な行動だった。ロボットの回転は安定して力強く、形状や大きさを変えることで速度や方向を調整できる」と封偉教授は紹介した。

ロボットの自重の40倍もの貨物を搭載可能

封偉教授のチームが開発したこの4Dプリントソフトロボットは、螺旋状円筒の曲率方向が回転方向を制御する特性により、昆虫の触角に似た触覚の知覚能力を備えおり、前方の道路上の障害物を検知し、障害物の高さに応じて乗り越えたり、折り返すことができる。また、貨物輸送もソフトロボットの重要なアプリケーションの一つである。「このロボットは前進と後退しかできないが、点と点の貨物輸送に使用できる。」封偉教授は、「筒型ロボットの中空の円筒は、直線状の物体を搭載するスペースとなる。直線的でない物体の搬送能力をテストするために、搬送車のような小型の牽引装置を設計し、装置全体を加熱された板の上を一定の速度で移動させることに成功した。これにより、このソフトロボットは、極めて高温の環境で貨物輸送作業に応用できることが明らかになった」と紹介した。

サンプルの長さを長くすることで、ソフトロボットの搬送能力は大幅に向上できる。サンプルの長さがメートルレベルになれば、筒型ロボットは最大で自重の40倍もの貨物を搭載できるようになる。

http://www.chinanews.com/gn/2021/10-13/9584976.shtml